

3

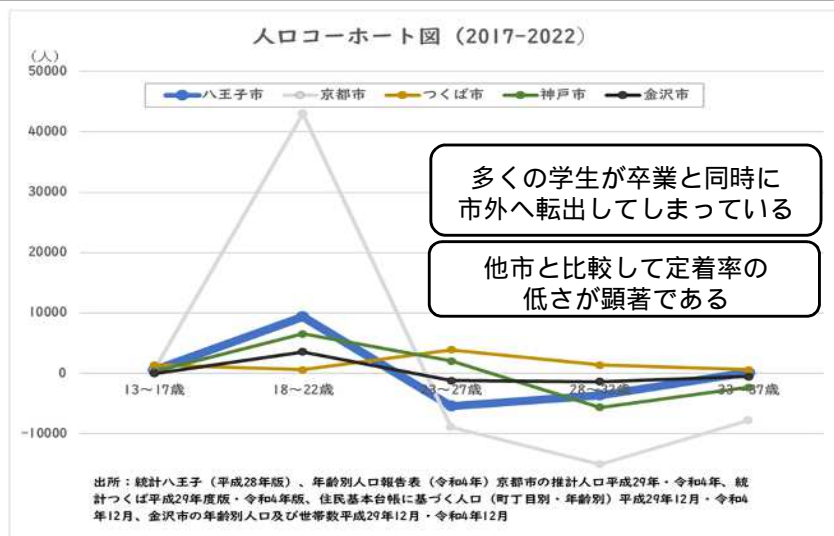
共同研究

学園都市八王子の学生定住の現状分析と、新たな地域交流の提案
～ 学生と地域の豊かな関係性を目指して～

本ビジョンの策定にあたり、制度経済学の視点からまちづくりを研究する帝京大学経済学部寺川ゼミナールと「八王子市における学生定住の検討」をテーマとして共同研究を実施しました。

ここでは、その概要を紹介します。

(1) 現状の分析と考察



若年転入人口獲得の機会を活かせず、定住に結びつけられていない

なぜ定住に結びつかない？

八王子市学生アンケート
(平成27年度・令和5年度実施)

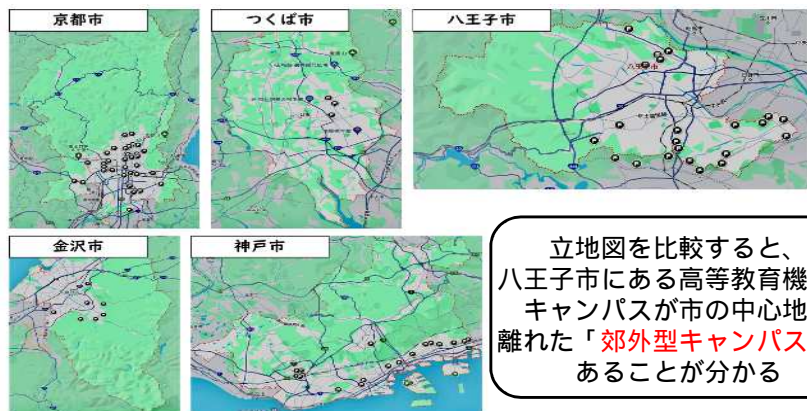
○八王子市に住みたくない理由

- ・八王子市に移り住む理由が特にならない
- ・八王子に愛着がないから

という回答が 約7割

進学により転入した学生の多くには八王子市に住む積極的理由(必然性・愛着)がない

なぜ八王子の学生は愛着を感じにくい？



キャンパス周辺地域から隔絶され、近隣住民との交流もない
また、学生同士の交流の際にも学校周辺に滞留しない

学生がキャンパスの立地する土地に愛着を持つようになるとは考えにくい

学生街があるようなキャンパスでは学生と地域住民との有機的関係が形成された結果、学生は地域に対して愛着を持つようになる

八王子市は学生街のような歴史的に形成された社会関係資本が乏しく、それを醸成する場所がないからこそ、郊外型キャンパスならではの社会関係資本の形成を政策的に支援する必要がある

(2) 現行の市施策



学生団体の活動支援

八王子市の魅力や情報の発信、
学生同士や学生と市民の交流を
目的に、学園都市づくりに貢献
する活動を行う学生団体
「八王子学生委員会」の支援



八王子市定住促進 奨学金返還支援事業

条件を設けたうえで、
市が奨学金の返済を
一部支援する制度

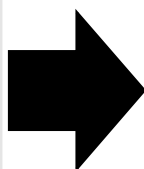


学生向けの プロモーション

市内外の若年層に
向けて、八王子市に
愛着をもって
住んでもらえるような
街づくりを行っている

etc.

八王子市アンケート
や学生の転出数から、
現行の施策の成果
では不十分であると
言える



現行の施策に
加えて、さらに
**学生が市民や
行政と交流する
きっかけが
必要**である

(3) 展望と提案

郊外型キャンパス

周囲から隔離され、すべてが学校の管理下にあるため、
閉塞感に満ちたものになりがちである



学生

本能的に「自由」を求め、
自由な学びの場を求めている

人々が交流するきっかけとなる
「サードプレイス」を求めている



地域の人々



「大学発エクステンションゼミ」

学生が大学での学びで面白いと思ったものを
学外に持ち出し、地域の人に参加してもらう
ことで、学びを新たに展開させる

3者にメリットがある

